

はばたき

2023.02
第35号

特集

リプロダクティブ・ヘルス/ライツってなに？

男女共同参画推進事業報告

(令和4年1月～令和4年12月)

「男女共同参画講演会」

「高校生向け人権擁護講座」

「輝く自分になるためのスキルアップ講座」

「婚活応援事業 海まち恋さがし」

令和4年度男女共同参画啓発事業

キャッチフレーズ・習字の入賞作品決定!

第3次蒲郡市男女共同参画プラン基本理念

多様な個性を生かした魅力のあるまち

バックナンバーをホームページ上で見ることができます。
QRコードを読み込んでください。



リプロダクティブ・ヘルス/ライツってなに？

出典：「ODA(政府開発援助)メールマガジン第401号」外務省ホームページ

人口問題に対する、人権を基本としたアプローチ

世界の人口は、2050年には97億人になると予想されており、今後の世界の動向を考える上でも、また持続可能な開発目標(SDGs)達成のためにも、人口問題について取り組んでいく必要があります。

1994年にエジプト・カイロで開催された国際人口開発会議(ICPD)では、家族計画の必要性において「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」の概念が初めて定義づけられました。

「リプロダクション(reproduction)」には、「再生する」「生殖する」という意味があり、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」は、「再生する」「生殖する」ための健康とその権利なのです。

国際人口開発会議で採択された行動計画では、カップルと個人が安全で満ち足りた性生活を営むことができ、子どもを産むか産まないか、いつ産むか、何人産むかを定める「選択の自由」を持つとされました。つまり、人口を数として捉えるのではなく、人々の尊厳、女性の健康やエンパワーメント※1に焦点をあてる人権を基本としたアプローチに転換したのです。

女性が自身の身体をコントロールできる選択の自由が無い社会では人権が保障されているとは言えません。

※1「能力開花」と訳され、個人や集団が本来持っている潜在能力を引き出し、力を湧き出させることをいいます。



出生率と、女性の選択の自由の関連性

出生率は女性の選択の自由と密接に関連しています。

例えば、避妊具(薬)や家族計画へのアクセスがないことによる望まない妊娠が女性の「選択の自由」を阻んでいます。

また、児童婚や女性性器切除などの有害な慣習や、ジェンダーに基づく暴力が女性と少女の意思決定を妨げ、尊厳を傷つけています。

例えば、世界平均では5人に1人、開発途上国では5人に2人の少女が18歳になる前に結婚しています。先進国でもジェンダー不平等や、安価で質の高い保育ケアを享受できないという状況があります。

これは、家庭と仕事の両立が難しくなり子どもを産みたい女性が子どもを産めない、または希望する子どもの人数よりも少なく産むということに繋がっています。

出生率は国や地域により大きな差があり多様化していますが、どの地域にも共通しているのは、すべての人々がリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する権利)を享受していると言い切れる国は、日本も含めどこにもないということです。



リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する取組み

男女共同参画基本計画では、「生涯を通じた女性の健康支援」として、リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する意識の浸透を掲げ、女性の健康問題への取組についての機運の醸成や、学校における性教育の充実、性に関する学習機会の充実を図る施策を推進しています。

出典：内閣府男女共同参画局ホームページ

蒲郡市では、令和3年6月に第3次蒲郡市男女共同参画プランを策定し、「多様な個性を生かした 魅力のあるまち」の実現に向けて様々な施策を推進しています。

その中では、性と生殖に関する正しい理解を促進するため、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの概念の普及促進を図り、安全・安心な暮らしの実現を目指しています。

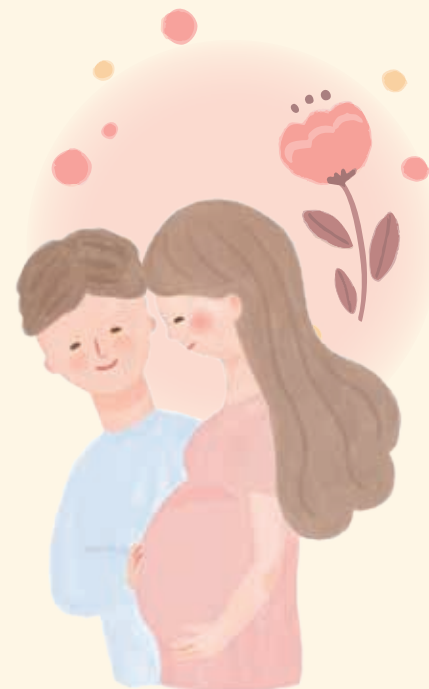
令和3年度には、輝く自分になるためのスキルアップ講座として、「正しい知識を持とう！互いを尊重する 性に関する健康教育」を開催し、講師の小栗明子先生から、リプロダクティブ・ヘルス／ライツや正しい性教育の重要性・必要性などを分かりやすく教えていただきました。



トピック

小栗先生から教えていただいた、正しい知識を得るためにお勧めの書籍や情報アクセス先をご紹介します。

- 「メグさんの性教育読本」
考え方や具体的な伝え方のお手本
- 「おうち性教育はじめます」
考え方や具体的な伝え方のお手本。まんがで読みやすい。
- 「イーダとペールとミニムン」
現在、新品入手はできませんがアー二出版からは他にもすぐれた絵本が多数出版されています。
- 「つながる Book」
高校生向け情報サイト
- 「思春期 10 のギモン」
三重県産婦人科医会監修
- 「紳也'S ホームページ」
コンドームのはめ方動画はじめ情報多量
- 性暴力救援センター日赤なごや「なごみ」 052-835-0753
- 子宮頸がんとHPV ワクチンについて
神奈川県医師会が令和2年3月に発行。多くの資料とともにわかりやすく説明されています。



男女共同参画推進事業報告

蒲郡市男女共同参画行政課題型協働委託事業

男女共同参画社会の実現に向けて、市民活動団体と市と協働で行う協働委託事業として、蒲郡にじの会（代表 浅井 なお枝さん）と共にスキルアップ講座を開催しました。

輝く自分になるためのスキルアップ講座

第1回 「女性が主役の防災講座」

と き：令和4年10月15日（土） 蒲郡市役所 北棟集会室 参加者：18名
講 師：一般社団法人こども女性ネット東海執行理事／防災士 藤岡 喜美子 氏



避難所運営には、女性や子どもの視点を取り入れていくことが大切です。日頃から運営方法を住民自身で考えることが、女性や子どもに対する配慮につながります。

より一層女性や子どもに対する配慮を高めるために、自主防災組織の役員等には女性を増やしていきたいと、講師は話されました。少しでも発災時の不安を減らすためにも、避難所運営に女性や子どもの視点を取り入れ、災害対応を常に自分事として考えていくことが大切です。

講座の中では発災時の判断を YES か NO かで考える「災害対応ゲーム クロスロード」を行いました。ゲームを通じて、災害時にどういった行動を取るべきなのかを受講者自身が自分事として考えることができました。また、絶対的な正解ではなくとも、住民自身が考えて判断することが発災時の対応につながることを改めて学びました。



第2回 「災害に活かせるキャンパススキル実践編」

と き：令和4年11月5日（土） 港町西公園 参加者：15名
講 師：ガールスカウト愛知県第91団 鈴木 庸子 氏



災害が発生した際の避難について、身の回りにある物を使用したキャンパススキルを学びました。竹竿や敷物を使用し、テントを組み立てて仮設トイレを設置したり、港町西公園に設置してある火を点けることのできる「かまどベンチ」を使ってご飯を炊いたりしました。仮設トイレの設置では、女性でも安心して使用できることが必要ですが、強風で敷物が剥がれてしまうなど、実際にやってみないと分からない課題を感じることができました。また、講座の途中では、実施した内容の改善策などを参加者内で話し合い、フィードバックしました。

いつ発生するか分からない災害に対応するため、防災を自分事として捉え、今回のように実際の災害時をイメージすることが大切であることを学びました。



第3回 「メディアリテラシーを知ろう！」

と き 令和4年11月26日（土） オンライン Zoom 開催 参加者：14名
講 師：愛知工科大学 准教授 小林 直美 氏



災害時には流言・デマ、フェイクニュースが多数流れる可能性があります。これらは特にSNSを通じて広がることが多く、ソース（情報源）の有無や正確性について確認することが大切です。講座の中では、東日本大震災や大阪北部地震での事例を確認し、実際に災害にあった際に私たちがどういった対応を取れば良いかを考えました。女性についてはケア的な役割を担うことが多いからこそ、健康・医療、物資などの情報の中にデマが存在することもあると意識することが大切です。これらの事例を確認することで、ジェンダー視点による災害時のメディアリテラシーの大切さについて学びました。

今回の講座を通じ、災害時の流言・デマ、フェイクニュースといった不安を乗り越えるためには、今回の講座内容のような過去の典型的な事例を学び、いったん落ち着いて考える思考が大切であることを学びました。



男女共同参画講演会

「これが私。自分らしく生きるために～知ってほしい、LGBTのこと～」

とき・ところ：令和4年5月28日（土）蒲郡市民会館 中ホール
講師：KABA. ちゃん 氏 参加者：約250名

ダンサーとしてデビューし、また振付師としてSMAPの「世界に一つだけの花」の振付を担当するなど、華々しい活躍をされているKABA. ちゃんの、性のあり方、多様性についてトークショー形式でお話をいただきました。

性的マイノリティーなど様々な理由で生きづらさを感じている人へ、自身の経験をもとにエールとなるお話をされました。

また、楽しく、前向きになれる軽快なトークと明るい笑顔に、会場は笑顔に包まれました。



「明るく、楽しく、あきらめない ～子どもの才能のを見つけ方、伸ばし方～」

とき・ところ：令和4年12月3日（土）蒲郡市民会館 中ホール
講師：辻井 いつ子 氏 参加者：約350名

辻井さんは、息子であるピアニスト辻井伸行さんの幼少から2009年のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝するまでの軌跡を、VTRを織り交ぜつつ話されました。

来場者のアンケートから多くのご感想をいただき、「支援級の息子がいてたくさん心に響く言葉がありました」「ほめることって本当に大事だなと思いました」「いつ子さんの明るく前向きな姿勢に心を打たれました」「私が目の不自由な子の親だったら、ずっと泣いて暮らしていたと思います」「今後の育児に参考になった」「子どもの可能性を親が一番信じ、ダメで元々の精神で前向きに子育てしたいと思いました」など、辻井さんの優しい語り口調は多くの人の心に響いたようでした。



高校生向け人権擁護講座

自己尊重トレーニング「私を大切にするココロのトレーニング」

とき・ところ：令和4年12月5日（月）蒲郡高等学校 約700名
令和4年12月7日（水）蒲郡東高等学校 約490名
講師：豊橋創造大学短期大学部 准教授 瀧崎 優佳 氏

自分がどのような人間であるかを改めて考えるため、自分の好きな部分、嫌いな部分などを書き出したり、自分の大切だと思うことや好きな言葉を隣の人と共有したりしました。講師からは自分のことを大切にするための第一歩として、見方を変えて自分のことを見ることで、ありのままの自分を大切にしてほしいという言葉がありました。

その他にも、怒りのコントロールの仕方と始めるアンガーマネジメントの方法や、プラスの言葉を使うことの大切さ、たとえマイナスの言葉であっても、言い方を変えることで、プラスイメージの言葉に変えることができることを学びました。



婚活応援事業 「海まち恋さがし」

令和4年10月22日（土）参加人数：男性、女性各14名 場所：Gama Café&Bakery

海近くの眺めの良いカフェ、Gama Café&Bakery で婚活イベントを開催しました。

定員を上回る申し込みをいただき、当初の予定人数から参加人数を増やして、25歳～45歳の男女各14名ずつが参加されました。

1対1で異性全員と自己紹介をした後、ルールの簡単なカードゲームで交流し、フリータイムでは美味しいスイーツを食べながら、自由に交流してもらいました。

ゲームは、8つのお題の中からカードを引いたものを演じて、それを周りが当てるといった内容でした。最初は演技をすることに恥ずかしさを感じていた様子でしたが、次第に馴れ、最後はどのグループも大変盛り上がっていました。

会話も弾み、アンケートでは「スイーツが美味しかった」「楽しかった」「また参加したい」などのお声をいただきました。



令和4年度男女共同参画啓発

キャッチフレーズ・習字入賞作品

蒲郡市では男女共同参画への意識向上と理解促進のために、キャッチフレーズ及び習字を市内小中学生から募集したところ、多くのご応募をいただきました。

選考の結果、各部門の入賞作品が決定し、それぞれ賞状と記念品を授与しました。



形原中学校
磯貝 和奏さん

みんなで創ろう
自分らしく生きていける世界を

優秀賞

中部中学校
千賀 友夢さん

男らしさ 女らしさじゃなくて
自分らしさを大切に

優秀賞

大塚中学校
林 俊也さん

「違い」を認め、
「違い」が輝く世界に

最優秀賞



中学生の部

習字

意改 識革
津中一年 篠原 妃璃

優秀賞

篠原妃璃さん

女活 性躍
津中一年 尾崎美咲

優秀賞

尾崎美咲さん

意改 識革
蒲中一年 伊豫田 柚葵奈

最優秀賞

伊豫田柚葵奈さん

家分 事担
蒲南小六年 平田佳那

優秀賞

平田佳那さん

性多 様
竹島小六年 四宮歩佳

優秀賞

四宮歩佳さん

男共 女同
蒲北小五年 小池春陽

最優秀賞

小池春陽さん

小学生の部